

47. 高齢者や障害者及び子供達の見守り活動や日常生活の支援

グループ名 リベラルーッ葉さんさんクラブ

代表者 上野和彦

① 活動の目的

高齢者が「元気な人が困った人に少しでも手を貸してあげる」ボランティア活動をすることで助かる人が増え、会員同士のコミュニケーションも深まってくると考え、会員を始め一般の住民にも輪を広げて、高齢者や障害者及び子供達の見守り活動や日常の支援等いろいろな活動を行っている。

② 活動の概要

1. 高齢者の一人住まいの方々に訪問、声掛けをして安否確認等の見守り活動
2. 高齢者や体の不自由な家のゴミ出し、浴室等の排水溝及びバルコニーの清掃
3. 病院の送迎、薬の受取、買い物の送迎、付き添え
4. 日常生活の援助、沿道、公園等の草刈
5. 小学校登下校時の交通指導
6. 年2～3回のふれあいサロン（食事会）

クラブでは毎月第1土曜日に例会・誕生会を開催し年2～3回のふれあいサロン（ゲーム等や食事会）を行っています。

普段の対一又は一人だけの食事ではなく皆で色々話し合いながら楽しいひと時をすごしたのちに食事会を行っています。又、当日参加されなかった方も含めて会報を発行しています。

マンションではプライバシーが確保される反面、個別の情報が入ってこないという問題があります。特に、高齢者の一人暮らし、高齢者夫婦のみの世帯なども一定程度あり、孤立死等に繋がる可能性を秘めております。そういった情報を収集するためにも例会・誕生会ふれあいサロンなどは大変有効であるとえております。

こういった例会や誕生会での話し合いの中から、移動手段を持たない方から、通院や買い物に困っている、体力的にバルコニーの掃除・風呂排水溝の掃除・高所作業（蛍光灯取り換え等）ができないとの困りごとが出され、当クラブとして何か対応ができないか検討し、6年程前から2

～3人の比較的若い会員で支援活動を開始しました。初めは、買い物支援だけでしたが、次第に現在の様々な生活支援にまで広がる結果となりました。また、これらの活動はあくまでボランティア活動として始めましたが、無償だと頼みにくいとの意見が出され5年前からは有償（ワンコイン：100円）とし現在に至っています。しかし、ボランティアに基づく活動とは言え、実際の経費は100円で必ずしも賄うことができているとは言えず、サービスを提供する側の人が変わっていった場合、事業が継続できるかという課題を抱えています。

これまで行ってきた、通院・薬受取等及び買い物の付き添え等、車を使用して会員の送迎、バルコニーの清掃・風呂排水溝の掃除・高所作業（蛍光灯取り換え等）を引き続き実施することとされていますが、今年度に限りませんが、今回の事業を活用して受益者負担の100円にいくらか加算してみました。また、生活支援には様々な消耗品・備品が必要ですが、これまでは個人のお金で購入しサービスする側の負担に頼っていました。今年度は、当事業を活用し、掃除道具や脚立等の備品整備、送迎費用が補助することができ、金銭的負担を減らすことができました。

今後は、ちょっとした物の移送や買い物・交通安全指導時等に使用する自転車を購入しました。これまでクラブ会員が中心の例会・誕生会でしたが、会員の親睦に加え住民の生活状況の把握という更に重要な役割を担うイベントであることに鑑み、今回の事業を活用し、会員以外の参加者を促進する誘導方策としてお菓子代・食材代に（ふれあい食事会）助成金を活用してみました。その結果、これまで以上に参加者を得ることができましたが、合せて、僅かですが会員の増加にも繋がりました。

困った人の生活支援を継続・充実していくためには、人材の確保が不可欠であるが、会員を増やしていく中で、支援活動の可能な若手の啓発育成を図るとともに、住民の皆さんに安心して生活をしていただく環境作りを常に考えていくことが重要であると思います。

今回の事業では、財政支援を受けて実施し、一応の成果を出すことができました。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出		
	ふれあいサロン（食事会） 1月 6月 9月	34,540円
	草刈り機	21,384円
	自転車（電動付）（中古車）	35,000円
	交通費（ガソリン代）1 ^キ 4円 年間走行距離4,500K	18,000円
	脚 立	6,264円
	消耗品（掃除道具・用紙代）	4,760円
	公民館使用料	3,000円
	合 計	122,948円



▲ふれあいサロン



▲バルコニーの清掃



▲送迎



▲自転車



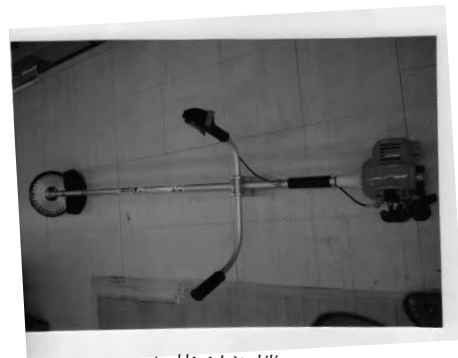
▲交通安全指導



▲風呂排水溝の掃除



▲脚立



▲芝刈り機